

正誤表

2019年 02月 28日発行の正誤表の修正（Rev. 1）

～ 規格本文 ～

No.	ページ番号	規格番号	誤	正	備考
第 4 章 容器					
1	I-4-54	PVB-4110 (3)	PVB-4110 クラス 1 容器の形状 (3) 円筒もしくは円すい形の胴・・・ $\varepsilon = \frac{D+1270}{200} \quad (\text{PVB-114})$ $\varepsilon = \frac{D}{100} \quad (\text{PVB-115})$	PVB-4110 クラス 1 容器の形状 (3) 円筒もしくは円すい形の胴・・・ $\varepsilon = \frac{D+1270}{200} \quad (\text{PVB-122})$ $\varepsilon = \frac{D}{100} \quad (\text{PVB-123})$	2005年版 以降

正誤表

2019年02月28日発行の正誤表の修正（Rev. 1）

～ 規格解説 ～

No.	ページ番号	規格番号	誤	正	備考
第4章 容器					
1	I-解説 4-46	解説 PVB-3117	PVB-3117は、軸圧縮荷重を受ける円筒形の胴の許容限界について定めたものである。すなわち、円筒形に軸方向の圧縮荷重が加わると、座屈の起こる可能性がある。そこで、許容圧縮応力として付録材料図表 Part 5 に定めており、圧縮応力は、この値を超えないこととしている。	PVB-3117は、軸圧縮荷重を受ける円筒形の胴の許容限界について定めたものである。すなわち、円筒形に軸方向の圧縮荷重が加わると、座屈の起こる可能性がある。そこで、許容圧縮応力として付録材料図表 Part 7 に定めており、圧縮応力は、この値を超えないこととしている。	2001年版以降
2	I-解説 4-59	解説 PVB-3310	$\varepsilon_{ep} = \frac{\bar{\sigma}}{E} + \bar{\varepsilon}^p$ (解説 PVB-6.8) $\bar{\sigma}$: 弾塑性解析によるミーゼス相当応力 $\bar{\varepsilon}^p$: 弾塑性解析によるミーゼス相当塑性ひずみ E : 付録材料図表 Part 5. 表 10 に規定する値 (MPa)	$\varepsilon_{ep} = \frac{\bar{\sigma}}{E} + \bar{\varepsilon}^p$ (解説 PVB-6.8) $\bar{\sigma}$: 弾塑性解析によるミーゼス相当応力 $\bar{\varepsilon}^p$: 弾塑性解析によるミーゼス相当塑性ひずみ E : 付録材料図表 Part 6 表 1 に規定する値 (MPa)	2001年版以降
第7章 弁					
1	I-解説 7-26	解説 VVB-3390 b.	b. ボルトの所要総断面積を計算する場合は、許容引張応力の値は付録材料図表 Part 5 表 2 に定める S_m の値を用いること。	b. ボルトの所要総断面積を計算する場合は、許容引張応力の値は付録材料図表 Part 5 表 1 に定める S_m の値を用いること。	2001年版以降 2019年02月28日発行の正誤表に対し、本正誤表を削除 (Rev. 1)